

授業科目名	創造性開発演習	担当教員 荒木 利雄 夏 世明			
必修の区分	選択				
単位数	2 単位				
授業の方法	演習				
開講年次	3 年 第 1 クォーター				
講義内容	フィールドワークなどを通じて、観光、地域振興につながる創造性を開発することを目標とする。創造性の開発には、様々な分野のインプット、枠にとらわれない思考、アート思考、フィールドワークでの体感の 3 つが重要であるとの方針のもと、多くの演習を行う。特に授業期間中 4 回は、豊岡市をはじめとした但馬地域でフィールドワークを行い、地元の資源に着目した創造性開発を行う。最後は、観光、地域振興に関する新たな提案を寸劇で演じてもらう。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 創造性開発に関して自分なりの方法論を持ち日常的に実践できる。 異なる分野、自分が知らない分野について関心を向けることができる。 観察や対話を通じて顧客や関係者の真のニーズを洞察できる。 フィールドワークの方法を習得して、地域の課題やその解決方法を見つけることができる。 自然やアートに触れることで自らの創造性を高める手法を日常的に実践できる。 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション、創造性とは フィールドワーク（コウノトリの郷公園） 効果的な観察から顧客の真のニーズを洞察するには フィールドワーク（城崎温泉） フィールドワークを振り返って自分の方法論を作る フィールドワーク（神社、地域活性化拠点） 中間まとめおよびゲストスピーカー講演 フィールドワーク（江原河畔劇場訪問、豊岡市立博物館） ゲストスピーカー講演とワークショップ 創造性の応用：イベント開催体験 期末レポート準備、プレゼンテーション、講評 全体総括とレポート作成 <p>※上記は今後の検討や先方都合で変更の可能性があります。 ※プレゼンには、寸劇をはじめ多様な方法があります。授業中に説明・相談しましょう。</p>				
事前・事後学習	発表に向けての作業以外は、毎週創造性に関する行動をとってもらい振り返る。				
テキスト	特になし				
参考文献	特になし				

成績評価 の 基 準	3 分の 2 以上の出席を前提に、 1. 出席率 : 20% 2. 授業中の発言及び積極性 : 30% 3. 期末レポート : 30% (論点の提示、レポートの書き方)
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	極力実践的な内容とする
備考欄	50 名を超えた場合、抽選を行う。